

磐城時報

福島縣石城郡平町... 印刷所 磐城時報社... 電話 二四九

遊興税の増額で 途方に暮れた平町

藝妓屋組合で幹部會 或は負擔契約拒絶か 三業組合貸座敷業も大狼狽

平町に於ける藝妓屋料理屋關係を行はねばならぬ事となるの三業組合關係、貸座敷業組合關係の善後策について組合では係の縣稅遊興稅並に町稅賦課稅近く幹部會を開く事になつた。從來便宜上組合に於て總稅額組合に於て負擔が出来ぬとなれば負擔し賣上玉から差引いて納ば縣吏員が出張して營業狀態を付してゐたため縣並に町當局の調査し課稅せねばならぬ結果と手數も省ける上に滞納なく好成なるので縣でも組合の態度に對して注意してゐる由である。又、三九二二圓七十七錢即ち三課額は從來に比し著しく増額南町飲食店の三業組合の前年度割五分の増額でこの兩組合でもされたため各組合では負擔に堪稅額は縣稅八百圓町稅五百八十圓恐惶を感じてゐる。

十七日から取扱ふ 平局の電話申込

架設料は四百五十圓

本年度電話申込は愈々來る六月設の要望大なるものがある殊に十七日から同二十七日迄全國一平本は既報の通り負擔金が四十圓乃至五十圓宛軽減せられた土地が多いので總じて昨年よりも申請數が多數に上るものと觀られてゐる。

▲申込郵便局の窓口で交付する申請用紙に記入して受付期間中に差出せばよい尙期間中ならば郵便で差出すことも出来る。

▲申込の受理申請數に應じて架設費定數を仙臺通信局で決定して各局へ振當てることにな

片倉製糸の操業 愈々けいふから開始

二十五日頃からは 全部の機械が動く

三郡養蠶家の熱狂的歡迎に資本金四百萬圓(拂込五十萬圓)を以て創立された平町月見町の片倉製糸株式會社は設備萬端を整へ今十五日頃から操業を開始する事になつた。設備した釜數は三百であるが、未だ春繭の出廻りが少ないため、數日間は女工五十名で一部分の操業を行ふ筈である二十五日頃からは目下郡山並に大宮工場で養成中である女工三百余名が來平して全部の操業を開始する際である。同會社の操業は御法川式によるものでこの法式は日本で大宮工場一ヶ所で行つてゐるものである。

鈴木町議の問題 本日漸く認可さる

縣の裁斷が見るものとされてゐる石城郡湯本小學校長鈴木木吉氏の平町會議員當選問題は五圓五十錢、最低六十圓五十錢平均七十二圓三十錢。

原町通信

▲小高町議選開票

年に無き大混戦を極めた小高町議選は去る十三日開票の結果左の當選者を見たり。

▲時田子之助、鈴木末治郎、鈴木克爾、鈴木省次郎、時田岩太郎、草濱之進、佐藤清治、宇佐美與惣兵衛、平田平藏、原専松、紺野敏、石川一、林常松、佐山伊之助、梅悲惨な有様にある。

小名濱大敷網問題 高橋側敗訴

白井氏に對する假處分申請は 理由なしとして却下さる

小名濱大敷網問題は白井博之氏が高橋日氏を相手取つて提供した假處分の申請で平區裁判所で高橋日氏の假處分を行つたのは高橋日氏に之に異議を唱へた上白井博之氏を相手として假處分の申請を行つたので訴訟となつてゐたが、此程結審し十四日午後三時平區裁判所千葉判事から判決を言渡しがあつたが、この結果高橋氏が白井氏を相手取つて提供した假處分の申請は理由なしとして却下され高橋氏側の敗訴となつた。而して高橋氏に對する假處分異議の判決は來る二十一日言渡される筈である。

飯豊村議當選者

▲荒専藏、菅野忠雄、島彦七、佐藤吉光、青田一、飯内装治、鎌田長之助、船橋俊藏、渡邊光、橋本源二郎、山田市太郎、荒強藏

地方の蠶況

原町地方の蠶況は五齡二三日中のもの尤も多く今明日中の處には蠶繭者もなく八分の蠶況なるが本年度は桑葉不足にて一貫目六十錢位の見當り、賣買され養蠶家は大きな打撃を蒙りつゝあり早くも新繭出廻り期は十九廿日頃にて買入問屋山十組の出張所を原町永町へ開始せり。

川瀬炭礦 遂に休山

石城郡赤井村川瀬炭礦は財界不況の結果經營難に陥り加ふるに過般の暴風雨のため坑内大出水し休山中であつたがこれが復舊は困難で且つ礦主川瀬氏の金策も不能に陥つたため十三日午後一時従業員全部を礦務所に集め炭礦今日までの経過及營業狀態に就き悲痛な報告をなし坑百夫二十名に對し解雇の申請し行つた未拂賃金六千圓は來る二十日までに支拂ふことになつた然し解雇手当の支給もないので従業員は各家族を引連れ生活に急迫し

人命救助 表彰方申請

十日午後一時頃平町新川町松本政男長男一男(五ツ)が近所の子供等三名と愛谷江筋附近で遊戯中誤つて河中に墮落溺死せんとしてゐるのを通りかゝつた内郷村大字宮馬目支店鈴木林造(三六)が発見着衣のまゝ、激流に飛び込み救助したので平署では同人を人命救助として表彰方を知事に申請した。

新銀行 立案

無名氏が配布
縣下の財界は未だに目鼻がつかず健忘症の縣民からはそろそろ忘れられやうとしてゐるが、最近「本縣財界に憤激しつゝある一員」といふ發信人の名で左の如き縣下銀行救済案を提唱、各地に印刷物を配付したものがあつた。

新銀行設立 資本金 五百萬圓 拂込 百二十五萬圓

一、株式應募方法
縣下一般より募集すること
音羽家多見丸 一座
尾上菊三郎 一座
此券御持参者に限り十錢
十八日より於聚樂館
先般消防協會が基金募集をなせるが如く普遍的に募集をなす事標準は右寄附額の十倍を以て目標となす
萬一満株に達せざる場合は有産階級をして義務的に責任を負はしむること
又株式は單一を條件とすべし

れば共同所有を歓迎す
右には從來の如き賣名の感あるありふれたる人名にのみ拘泥せざるを條件とし實質犧牲的精神を以て活動せんとする模範青年各郡に二名以上を参加せしめ而して委員五名を常設すること
二、經營方法
日銀福島支店長、縣知事、福島、郡山、商工會頭、若松、平商工會長を相談役に推薦し取締役監査役支配人等は一切白紙主義(野心家を排斥す)三、方法
對外的に信用失墜せる本縣の信用を昂め且つ百四拾萬人縣民福利の増進をはかるを以て目的とす。

立町に賊

平町立町鐵道員阿部新之助方に去る十二日午後九時頃賊忍び入り靴一足を窃取逃走したので平署に届け出た。

俳句片々(六)

曲水句帖六月號
草の蝶枕ふ子に追はれけり 祖 稗
× ×
摘草に吹かる袖をはさみけり
切れ字を失念した様な感のある句、つうべら棒な意向が溢つてゐる「に」の切れ字は虚空的弱減感があり、「を」の切れ字に全意を奪はれた形ちである。「摘草」季題を主旨する俳句には絶對的の附帯條件であるから、任意をもつて弱める事は忍び得ないのである、句切の中心が袖のみ生々しく思はれて句意に反する様な氣がされます。摘草を浮すには「に」の切れ字が全意を抱負するに虚弱であり「を」を以つ

時報文藝

平一 出羽武雄
昔の思ひで
では御体を大切にしてくださいやうならと云ふ言葉も涙に暮れて窓から差し出す手と手はふるへながら感激の余り何とも云ふ事が出来なかつた、今度あの先生と一所に長谷川君も遠い一所に行かねばならぬと思へば、先立つ物は涙であつた。私達は別れないでいつ迄も一所に居たえのであるが此れも仕方がない、さようなら又何時か合ふ時もあるでせう。何時迄も僕を忘れないで手紙だけはよこして下さいしんみりと云つた長谷川君の言葉を後に、無情な汽車はプラットホームを離れてつた僕は汽車の煙が見えなくなる迄呆然とたゞすんでゐた。

驚いた!!!

こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物

電話特別開通受付開始

一、受付期間 来る十七日より六月二十七日迄
一、設備費 金四百參拾圓 (外ニ加入登記料金五圓ヲ要ス)
一、受付場所 當局窓口
一、申請用紙は窓口で差上げます
一、詳細は窓口又は電話四〇〇番へ御聞合せ下さい

平 郵 便 局

家屋賣物

一、平町新田町目貫の場所
一、料理店向き

但し電話付き
姓名 在 社

募集廣告

一、有給徒弟 三名
右至急募集ス

丸はん家具製作所
平町字新田前
電話七二三番

耳鼻咽喉科

平町仲田町七一
新築 移轉 場所 合津醫院
電話五九五番

御禮に併せて

這般近火に際し弊館も類焼せる如く傳へられ種々御芳情を賜り候へども右は全くの誤傳にして各位の御庇護により幸ひ類焼を免れ平常通り營業致したり候間何卒御心置きなく倍舊の御愛顧を懇願仕り候

昭和四年六月
平町搔搔小路(電話八四七番)
ライ卜寫眞館
館主 高田 二果

生花教員免許狀授與

福島縣平町字仲町 岡田 リキ
右者に生花教員免許狀を授與す

華道家元龍生派 福島縣平町字六丁目 池坊生花教授 正木 旭 松

婦人俱樂部浴衣

陳列即賣中の
音曲諸流家元好み浴衣
大好評で御座います 御來觀の程願上候

三井吳服店

氷 水

始めました
アイスクリーム・ミルクセイキ
其他清涼飲料物一式(電力應用)
夏期中蒲鉾を休みます
電力應用 出揃迅速
藤 市
電話三〇五番